

第2次十和田市男女共同参画社会推進計画（後期実施計画） 令和3年度における進捗状況

No.	基本目標	重点項目	施策の方向	令和3年度における事業の実施状況及び評価						参考値 (28年度)	目標値 (3年度)	計画後期の総括	担当課	備考	
				事業名	内容	実施状況（実績）	指標名	現状値	達成度						指標設定年度
46	Ⅲ 安心して働ける労働環境づくり	1 就業機会の拡大と労働環境の整備	1 男女の均等な就業機会の拡大と情報提供の推進（※）	雇用・就業に関する各種情報の収集・提供（※）	関係機関と連携し、事業主及び就業者等に対して雇用機会均等法及び育児・介護休業法などの周知を図り、仕事と家庭両立支援や雇用情報等を提供する。	関係機関からのポスター、パンフレットの設置、市ホームページでの情報提供を行った。青森県最低賃金の改定については「広報とわだ」及び市のホームページへ掲載して周知を図った。 ○情報提供 ・市ホームページ掲載 7回 ・ポスター掲示 3回 ・チラシ設置 12回 ・市広報掲載 2回	情報提供回数	24回	5	29	6回	10回	令和3年度にはにおいて目標値を達成することができた。	商工観光課	
47				雇用・就業に関する各種情報の収集・提供（※）	利用者が探しやすいよう、ビジネス支援コーナーを設置し、広く市民に提供する。	雇用・就業に関するビジネス書を新規に受け入れし、ビジネス支援コーナーへ配架することにより、図書の実態を図った。 ○収集した図書 54冊 ○除籍した図書 290冊 （令和元年度末までに収集した図書 1,226冊）	展示冊数	990冊	4	24 (500冊)	852冊	1,102冊	ビジネス支援コーナーへ多岐に渡るビジネス書を揃えていくことにより、利用者層の拡大を目指す。	市民図書館	
48		2 女性の職業意識の向上と能力開発の促進（※）	女性の活躍支援（※）	結婚や出産、子育て、介護等により、就労を中断した女性の再就職や、それぞれのライフステージにおける就労を支援することで、女性のキャリア形成を促進することを目的として、女性の再就職に必要なスキルの習得や「仕事と家庭の両立」を目的としたセミナーを開催する。	女性の活躍支援に係る雇用主向けセミナーを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	延べ受講者数	0人	2	29	22人	80人	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	商工観光課	第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業	
49		3 再雇用等労働に関する相談体制の充実（※）	再就職に関する各種情報の提供（※）	関係機関と連携し、再就職に関する情報の提供をする。	求人情報や就職面接会開催等について関係機関からのリーフレットを設置するとともに、市ホームページで情報提供を行った。 ○情報提供 ・チラシ設置 62回 ・市ホームページ掲載 60回 ・市広報掲載 2回	情報提供回数	124回	5	29	76回	80回	令和3年度において目標値を達成することができた。	商工観光課		
50		資格取得等の学習機会と情報の提供（※）	関係機関と連携し、資格取得等の学習機会と情報の提供を図る。	女性の活躍支援に係る雇用主向けセミナーを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	情報提供回数	0回	2	29	1回	1回		令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	商工観光課		

第2次十和田市男女共同参画社会推進計画（後期実施計画） 令和3年度における進捗状況

No.	基本目標	重点項目	施策の方向	令和3年度における事業の実施状況及び評価					参考値 (28年度)	目標値 (3年度)	計画後期の総括	担当課	備考		
				事業名	内容	実施状況（実績）	指標名	現状値						達成度	
51	Ⅲ 安心して働ける労働環境づくり	2 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のための環境づくり	1 保育サービスや介護サービス等の充実（※）	地域子ども・子育て支援（※）	子どもや保護者が置かれている環境に応じ、様々な施設・事業者から適切な子育て支援を総合的に受けることができる体制を整備することを目的として、各事業を保育所等に委託又は補助により、地域の子ども・子育てを支援する。	子育て世帯のニーズに対応するため、保育施設等に対して補助や委託により子育て支援の体制を整備した結果、令和3年度の地域子ども・子育て支援事業の実施箇所は、前年度（33箇所）から1施設増の34箇所となった。 ○地域子ども・子育て支援事業 実施箇所数 ・延長保育事業 26箇所 ・地域子育て支援拠点事業 7箇所 ・一時預かり事業 7箇所 ・障害児保育事業（ふれあい保育含む） 14箇所 ・病児保育事業 1箇所 ・ファミリー・サポートセンター事業 1箇所 ・子育て短期支援事業 4箇所	地域子ども・子育て支援事業実施箇所数	34箇所	5	24 (43箇所)	31箇所	33箇所	支援事業を実施する施設は、前期比で増加しており、事業の実施体制は整っている。引き続き継続して実施し、支援環境を維持することが必要。	子ども支援課	第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業
52				放課後児童クラブ（仲よし会）（※）	就労等により保護者が家庭にいない児童を対象に、放課後や休校日における生活の場を提供することで、児童の健全育成を図ることを目的として、放課後児童クラブ（仲よし会）の充実を図る。	指定管理委託により、放課後児童クラブ（仲よし会）を開設、運営した。 ○利用児童 771人 ○開設仲よし会 14箇所（うち指定管理 14箇所） ・三本木小学校仲よし会 ・北園小学校仲よし会 ・南小学校仲よし会 ・東小学校仲よし会 ・西小学校仲よし会 ・ちとせ小学校仲よし会 ・藤坂小学校仲よし会 ・沢田小学校仲よし会 ・法奥小学校仲よし会 ・高清水小学校仲よし会 ・洞内小学校仲よし会 ・四和小学校仲よし会 ・松陽小学校仲よし会 ・深持小学校仲よし会	仲よし会利用児童数と施設数	771人 14箇所	5	24 (429人 9施設)	693人 12施設	720人 13施設	すべての仲よし会が指定管理者制度へ移行しサービスの向上が図られたほか、待機児童対策として市内の空きのある仲よし会へのタクシーでの移動支援を実施したことで、希望するすべての児童へ放課後や休校日に生活の場を提供することができた。	子ども支援課	第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業
53				包括的・継続的な支援体制の構築（※）	包括的・継続的な支援体制を構築し、高齢者に関わる相談を総合的に受け止め、適切なサービスを受けることができたよう支援することを目的として、市民への意識啓発や関係機関との連携により、介護を必要とする高齢者の早期発見・対応に努める。	・地域ケア会議は圏域ごとに課題の抽出・課題解決に向けて、地域包括支援センターに委託し検討を進めた。 ・圏域から地域の課題の解決に向けて、事例検討を積み重ねて社会基盤の整備につなげることができている。 ・令和3年度の地域ケア推進会議は書面会議で行い、テーマを「身近な地域で集える場づくり」に設定し、出された意見を情報共有した。 ①地域ケア個別会議開催回数・参加者数…20回・180人 ②地域ケア圏域会議開催回数・参加者数…5回・91人 ③地域ケア推進会議開催回数・参加者数…1回・9人 ④成年後見制度周知回数…1回	相談件数	6310件	5	29	2,376件	2,200件	圏域ごとの課題の抽出、課題解決に向けた取り組み、事例検討の積み重ねにより、相談対応などの充実を図った。	高齢介護課	第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業
54				2 家事・育児・介護等をともに担う環境づくり（※）	育児・介護休業制度の情報の提供（※）	男女の労働者がともに育児・介護休業が取得できるように制度等に関する情報の提供を行う。	すべての労働者が育児・介護休業を取得できるように制度等に関する情報提供を行った。 ○情報提供 ・市ホームページ掲載 1回 ・チラシ設置 1回	情報提供回数	2回	4	29	3回	3回	令和3年度においてほぼ目標値を達成することができた。	商工観光課
55		職員の育児休業の取得推進（※）	市職員の育児休業が取得しやすい環境づくりを図る。	職員が育児をしようとする場合に利用できる休業等の諸制度の周知を行った。特に産前・産後休暇取得者に育児休業制度の内容を説明し、同制度の正確な理解を図った。また、男性についても対象者の把握に努め、制度の周知を行った。 ○男女育児休業取得 ・女性 対象者 7人 育児休業取得者 7人 ・男性 対象者 13人 育児休業取得者 1人	男女育児休業取得率	女性 100% 男性 7.7%	4	24 (女性 100% 男性0%)	女性 100% 男性 7.7%	女性 100% 男性 10%	面談シートを活用し、対象者への制度の周知等を行い、育児休業の取得促進を図った結果、女性の育児休業取得率100%、男性の育児休業はH29年度から令和2年度は目標値を達成できた。	総務課	【達成目標～2.7%（H33男性の育児休業取得率）】		

第2次十和田市男女共同参画社会推進計画（後期実施計画） 令和3年度における進捗状況

No.	基本目標	重点項目	施策の方向	令和3年度における事業の実施状況及び評価						参考値 (28年度)	目標値 (3年度)	計画後期の総括	担当課	備考	
				事業名	内容	実施状況（実績）	指標名	現状値	達成度						指標設定年度
56	Ⅲ 安心して働ける労働環境づくり	2 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のための環境づくり	3 子育て支援体制の充実（※）	子育てに関する情報誌の発行（※）	子育てに関する情報を提供する。	「とわだDE子育て応援ナビ」の登録数及びアクセス数は昨年度より増加している。 ○子どもすこやか手帳 内容：予防接種や乳幼児健診、子育てサポート情報 ・ホームページ更新回数 4回 ・配布者数 1,931人 ◆とわだDE子育て応援ナビ ・メール登録数 936人 ・アクセス数 181,040人	情報提供回数	HP更新4回 子どもすこやか手帳配布者数 1,931人	5	25 HP更新1回、子どもすこやか手帳配布者数431人	HP更新1回 子どもすこやか手帳配布者数 425人	HP更新1回 子どもすこやか手帳配布者数 400人	令和3年度現状値において目標値を上回ることができた。 とわだDE子育て応援ナビ登録者が年々増加する中で子育て情報を提供することにより、安心して子育てできる環境づくりにつながった。	健康増進課	
57				母子保健事業の推進（※）	乳幼児や妊婦の健康増進と、保護者の育児不安の解消及び虐待防止を図ることを目的として、乳幼児がいる世帯に対する家庭訪問や相談体制の充実に努める。	母子保健に関する支援に加え、十和田市立中央病院精神科医師が行う「男性の周産期うつに関する調査研究」に協力することにより、父親も含めた子育て支援に取り組みることができた。 ○乳児家庭全戸訪問指導数 対象数 283件 実施数 275件（実施率97.2%） 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から家庭訪問の承諾が得られず、来所面談で対応した家庭もあった。	乳児全戸訪問指導実施率	97.2%	4	29	91.5%	100%	妊娠前から継続的に支援した。乳児家庭全戸訪問では、育児に対する負担や不安の状況及び周囲からの手助けが得られるかなどに応じて産後ケア事業や関係機関へスムーズにつなぐことができた。	健康増進課	第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業
58				相談員の配置（家庭相談員）（※）	子育てに関する様々な問題を抱える家庭等を支援することを目的として、家庭相談員による適切な指導・助言を行うとともに、関係機関と連携し児童虐待の未然防止、早期発見に努める。	十和田市児童虐待防止マニュアルを市内の保育・幼児教育施設、小・中学校、高等学校を通じて18歳未満の児童のいる家庭へ配布し、児童虐待の未然防止、早期発見のための周知啓発を行った。 また、ヤングケアラーの早期発見、適切な支援につながるよう市内の小・中学校、高等学校、居宅介護支援事業所、特定相談支援事業所を対象にアンケート調査を実施した。 ○子ども家庭相談対応件数 88件 ○ヤングケアラーに関するアンケート調査に寄せられた意見 ・家庭内のことなので問題が表に出にくい、把握しにくい ・子ども自身が問題を認識しておらず、周りに相談できていないのではないか ・これまでヤングケアラーについて意識して関わってこなかったため分からない	相談対応件数	88件	4	24 (127件)	82件	100件	児童虐待の相談件数は増加傾向にあるが、関係機関との連携を図り早期介入・支援を行った。 当市におけるヤングケアラーの現状を把握することができた。	健康増進課	第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業
59				子ども医療費給付（※）	子どもの医療費に係る負担を軽減することにより、子どもの保健及び出生育児環境の向上を図ることを目的として、中学生までの医療費を無料とする。	乳児～就学前児童のおよそ87%、小・中学生のおよそ46%の子育て世帯に対する医療費軽減を行った。 ○乳児～就学前児童への給付実績 受給者数 2,222人 給付額 67,779千円 助成件数 41,009件 ○小・中学生への給付実績 受給者数 1,945人 給付額 41,231千円 助成件数 21,622件	給付件数	就学前児童41,009件 小・中学生 21,622件	4	24 (就学前児童34,344件、小・中学生 9,487件)	就学前児童34,344件 小・中学生 9,487件	就学前児童36,000件 小・中学生 26,500件	平成30年10月から、就学前までの児童の所得制限緩和により、令和元年度の助成件数は目標値を上回った（就学前児童51,216件、小・中学生28,844件）。 しかし、令和2年以降は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い助成件数が減少し、目標値を下回った。	子ども支援課	参考データ 第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業
60				次世代育成支援特定事業主行動計画の推進（※）	職員が安心して子育てをしていくことができる環境の整備と具体的な支援策の実施	産休・育休支援面談シートを使用し、配偶者出産、育児参加などの特別休暇についての制度周知を行うなど、取得について勧奨を行った。 ○特別休暇（配偶者出産、育児参加）を5日以上取得した男性職員・対象者13人（うち5日以上の取得者 5人）	特別休暇（配偶者出産、育児参加）を5日以上取得した男性職員の割合	38.5%	3	29	-	50%	H29年度33.3%、H30年度42.9%、R元年度50.0%、R2年度75.0%と上昇傾向で推移していたもののR3年度においては目標値を達成できなかった。	総務課	
61	女性の活躍支援（※）	再掲対応										商工観光課	第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業		

第2次十和田市男女共同参画社会推進計画（後期実施計画） 令和3年度における進捗状況

No.	基本目標	重点項目	施策の方向	令和3年度における事業の実施状況及び評価						参考値 (28年度)	目標値 (3年度)	計画後期の総括	担当課	備考	
				事業名	内容	実施状況（実績）	指標名	現状値	達成度						指標設定年度
62	Ⅲ 安心して働ける労働環境づくり	3 自営等従事者の環境整備	1 自営業を担う女性就労者の環境づくり（※）	創業支援（※）	創業希望者に対する支援を充実させることにより、地域経済の活性化及び雇用の創出を図ることを目的として、空き店舗等を活用して事業を開始する女性創業者を支援する。	十和田市創業支援事業計画(平成28年度～令和7年度)に基づき、創業希望者に対する各種支援を行った。 ○創業者 16人（うち女性 5人） ◆ワストップ窓口相談 21人（うち女性 7人） ◆創業相談ルーム相談 30件（※男女別の件数不明） ◆十和田市創業支援等空き店舗等活用事業補助金 9件（うち女性 4件）	女性創業者数	5人	5	29	2人	2人	令和3年度において目標値を達成することができた。	商工観光課	第2次十和田市総合計画第1期実施計画関連事業
63				農業等に関する学習機会・情報の提供（※）	農業経営に係る知識・技術についての学習機会や情報の提供に努める。	広報とわだの誌面を利用して「のうぎょうと農業委員会」を2回発行し、農業委員会および農業委員会業務、また農業者年金等の制度について市民に広く周知した。 また、随時ホームページで情報の提供に努めた。 ○情報提供 ・のうぎょうと農業委員会の発行 2回（計4ページ） （市広報6月号・12月号に掲載）	情報提供回数	2回	4	29	3回	3回	目標には及ばなかったものの、おおむね達成することができた。ホームページでの情報提供についても、滞ることもあったが、適切に更新し情報の提供を行った。	農業委員会	
64			2 家族経営協定等の推進（※）	家族経営協定の推進（※）	農業に携わる家族全員で、経営方針の決定、就業条件の整備、生活面のルールや福利厚生関係の策定などを決定することにより、女性の地位向上とより充実した農業経営を目指し、家族経営協定の普及と締結を促進する。	市内全農業者ヘチラシの配布を行うなど周知活動を行ったが、令和3年度の協定の締結はなかった。 ○家族経営協定 ・新規締結農家 0組	新規締結数	0組	2	24 (13組)	3組	3組	補助事業等への優遇措置がなくなったことや、コロナ禍で制度の周知等が十分に行われなかったこともあり、取組件数は伸びなかった。（後期合計10組）	農業委員会	【集成果目標～1,450戸 (R3年度末県内締結数)】
65			移動農業委員会（※）	地域の集会所で、研修会を開催し、家族経営協定の推進や農業者年金加入推進を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、移動農業委員会は中止とした。	女性の参加率	0%	2	30		40.0%	全体的に女性の参加率は伸び悩んでおり、移動農業委員会の女性の参加率は目標の40%に及ばなかった。（R2、R3は開催なし）	農業委員会		